

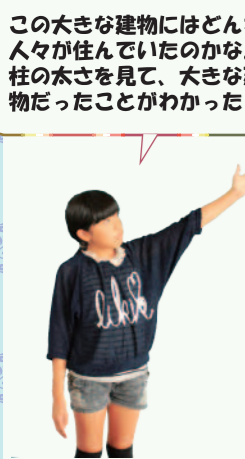
# 大島島田遺跡のここがスゴイ!

大島島田遺跡は、今から1,100年くらい前(平安時代)に、都城の有力者がくらしていたお屋敷の跡だと考えられています。

この頃の地方有力者の屋敷跡は、全国でもめずらしく、当時の地方有力者の暮らしを知るうえで、とても重要な遺跡であることから、平成14年、国の史跡に指定されました。

(平安時代の地方有力者宅としては、全国で2例目)

敷地は、5,600㎡くらいはあると考えられていて、門や柵(溝)で仕切られていたこともわかっています。



# 大島島田遺跡のここがスゴイ!



柱のあとから建物が大きかったことがわかったよ。とても大きな池もあったんだって!火起こし体験もしたけど、昔の人々は大変だったと思った。これから、もっと遺跡について知りたいな!

なんとっても、この大型建物跡がスゴイ!!  
 畳176枚分(約88坪:現在の1階建ての家の3倍くらい)の広さがあります(---でかこまれた部分)。  
 建物の柱の穴は、大きいもので直径1mくらいあり、柱の太さも、太いもので直径40cmくらいだったと考えられています。  
 この建物の南側には池があり、池のまん中にある島のような場所には、建物が建っていたと考えられています。

# 大島島田遺跡のここがスゴイ!



素焼きのお皿が何枚も重なって見つかった

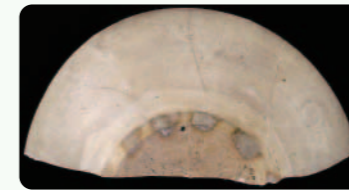
文字が書いてあるものや、ツルツルしている物などいろいろな茶碗があるね。昔のものが残っていて、スゴイね。昔のお茶碗を使ってみないな!

昔の人は、こんな茶碗を使っていたなんてスゴイ!いろいろな字を書いているのもスゴイ!重い茶碗と軽い茶碗があったよ!



大島島田遺跡からは、当時の人が使った道具などがたくさん見つかっています。中には、中国で作られたお茶碗(当時、なかなか手に入れることができず貴重だった)のほか、素焼きのお茶碗には、当時の人が書いた文字も残されています。

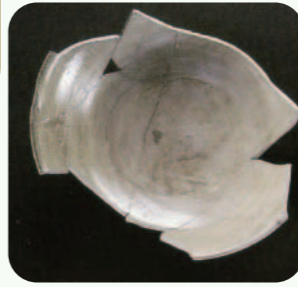
\*当時、文字はごく一部の人(身分の高い人)しか書けなかった。



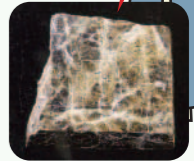
青磁(せいじ)  
中国で作られた茶碗。表面にガラス質の薬がかけられている。



墨書土器(ぼくしょどき)  
墨で文字が書かれた茶碗など。写真の文字は「泉」。



緑釉陶器(りょくゆうとうき)  
国内で作られた陶器。表面にガラス質の薬がかけられている。



石鈿(せつか)  
役人が身に着ける帯の飾り

# これからの大島島田遺跡

今回、パンフレット作りを行って、初めて大島島田遺跡のことを知った児童も多かったのですが、1,100年くらい前の平安時代の遺跡が校区内にあり、それが残されていることに驚きと感動を覚えていました。

限られたクラブの時間の中で、大島島田遺跡について写真やDVDを見て学習し、実際に現地(かんきん)に足を運びました。現地では、大島島田遺跡のウリともいえる、大型建物の大きさを体感し、火起こしも体験しました。その後は遺跡から見つかった出土品にも触れ、観察しました。

最後は、パンフレットのデザインを選んだり、コメントを考えたり、表紙の題字を書いたり、いろいろな経験を通して、大島島田遺跡のことを知り、そして、より多くの人に大島島田遺跡について知ってもらうためにはどうしたらよいか、考えました。

遺跡の周辺には、都会みたいにビルがなく、高千穂がきれいに見えたよね。これからもずっとこんな風景であってほしい。

建物や池の大きさがわかるようにして、遊べるようにしてほしい。

木を植えて、わかりやすい看板があったらいいと思う。

インターネットを使って、遺跡のことを配信したらいいと思う。

人がたくさん来るような公園にしたい。

チラシやパンフレットをたくさん作って、たくさんの人に配ったら、遺跡のことを知ってもらえると思う。

大島島田遺跡が  
営まれた頃

大島島田遺跡全体写真・柱穴写真・土器出土状況写真・出土品写真:提供 宮崎県埋蔵文化財センター

